

ご自由にお持ちください。

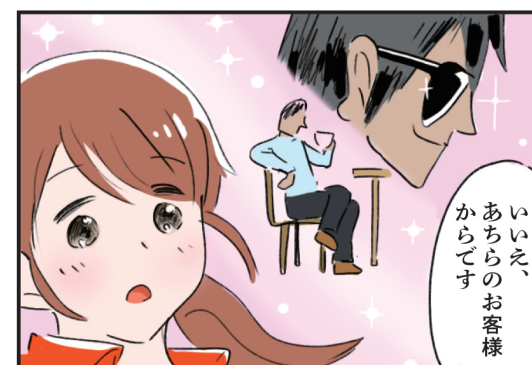
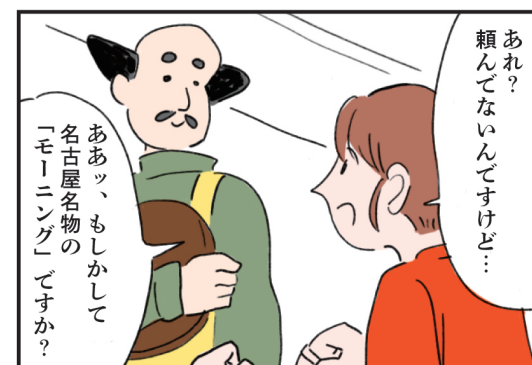
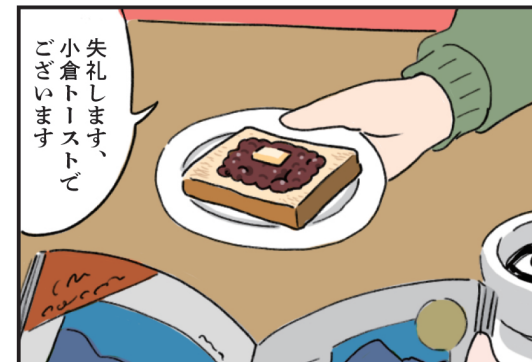
ORI-MACHI NISHIKI

-新しいまちの会所オープン特集-



新しいかたちで再びこのまちに生まれました。

始まりの予感

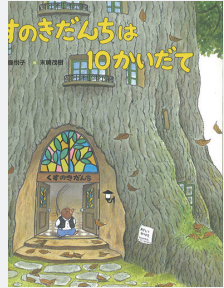


佐藤 ぶらお



延藤文庫
紹介
No.06

「くらしを考える」 の絵本



暮らし、生きる。そんな私たちの日常の積み重ねりが、歳という簡単な数字に置き換えられて、その数字が大きくなればなるほど、いつしか「あーなりまえ」と思われていく。

SNSでは、「丁寧な暮らし」という言葉が流行っていますが、何を指しているか？丁寧であるは個人によるけり、目に見えぬ丁寧さ！自分への丁寧さを整えて、少し視野を広げて周りを見渡してできる。そんな時にグッと心を掴んでくれる一冊をおご紹介します。

まだまだやさしくいみなくうつくる
作：小田嶋正樹
絵：小田嶋正樹・宮原節子

「おやぶんなちは まったくたよりない。そんな一言からはじまるこの絵本の作者の一人、マリガツツット・ペロマバヴニエさんは都市での生活におけるサステイナブルライフについて世界各都市で講演を続ける環境作家におかれ、何處でも見受けてしまいたくない独特な感性をもった人物です。また、今度半々推進論に精神的に取り憑いてる小田嶋ゆきは、ゆるい読み進めていってとページジョージが繋がっていること気づかれています。」のみだは見つけたいからでちうかがあっていい私たち一人一人の力は、その力とはとても大きく大きな力のごまのようにつくつかりと繋がっていて、We have power!（おれたちらは ちから）何か気が付いたことかなら組んでいたからですね。

***くすのきだんちは 10かいだて ***
作：小田嶋正樹
絵：小田嶋正樹・宮原節子

10階建てのくすのきだんちには、それぞれ特技をもった個性的でキュートな動物たちが暮らしています。管理人さんが夜よくだにゴソゴソしたとき、住人たちは言いながら、それどころかにゴソゴソと、でも誰にも何一つとして文句は言いません。住人がそれどころかにゴソゴソと、でも誰も何一つはないで力を合わね、幸せはみんなとに分かる含め、いっしょにつつまれてのほかに、そばにいて、自分たちの居場所のこと、自分たちが決める、認め合ったことが、どうとも空っぽ感があるみたいなので、明日問い合わせてみようと思えます。

白石

錦二丁目のまちづくりに絶大な貢献をされ、全国的にも著名であった故 延藤安弘先生の(都市研究家・地域プランナー)蔵書(絵本含む)や研究資料が「延藤文庫」として、このまことに保管されています。冊数にして5万冊以上。

日本におけるすまい・まち育て研究・実践の発展のため、ライブラリー化に向けて現在基金募集中です!

基金の申し込みはコチラ



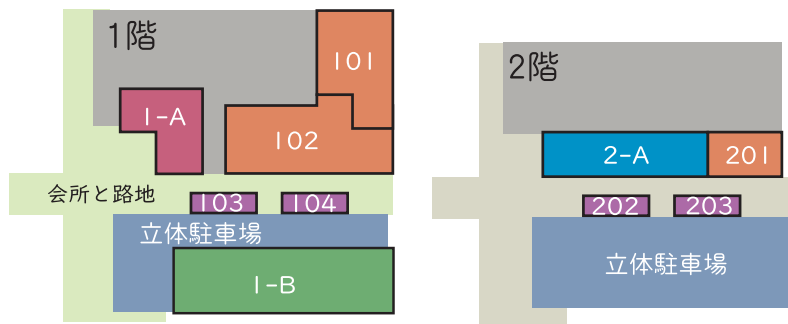
#ORI-MACHI NISHIKI	タチャ錦二丁目店 2p オリマチ錦 1-B	瑞職（ズイロウ） 3p オリマチ錦 102	NANA 3p オリマチ錦 202
オリマチ広場 2p	Delica Kitchen 3p オリマチ錦 101	Dental Office 丸の内 3p オリマチ錦 201	amplis 3p オリマチ錦 203
鷹茶七番 2p			

KAISY000000配布協力店舗募集中！
現在配布枚数の増減もメールにてお問い合わせください

編集後記：この街で子育て中の身として、子供と楽しめる街にできたらいいなと思っています。
新しくできる喫茶七番が繋がれる場所になることを願って
#錦二丁目子育てする人と繋がりたい #錦二丁目仕事している人と繋がりたい (浅井)



錦二丁目の新スポット、住宅・商業・クリニックからなる ORI-MACHI NISHIKI がオープンしました。都心生活を支え、賑わいに貢献する商業施設、かつて錦二丁目地区の交流の場となっていた広場「会所」「路地空間」の創出によるまちづくり拠点「七番」など、多様な都市機能を有する複合再開発です。(名古屋市錦 2-7-7)



I-B タチャ錦二丁目店 6/3 OPEN

営業時間 10:00~18:00
定休日 | 水曜日

6月3日にタチャさんがグランドオープンします。
お客様に毎日新鮮でお値打ちな食材を提供する為に、
スタッフ一同、元気いっぱい頑張っております！
是非お立ち寄りください。

(店舗区画オーナー 有限会社かさぎ)

I01 Delica Kitchen 6/23 OPEN

おいし、その場で、
にぎりたて

6月23日、オリマチ店舗 101 にデリカキッチンさんがオープンします。デリだけでなくベーカリーやおにぎり専門店も併設される複合店舗になります。
近くへ来られた際は是非お立ち寄りください。

(店舗区画オーナー 八木兵殖産株式会社)

I02 瑞瓏(ズイロウ) 8/2 OPEN

瑞瓏
営業時間【予約制】
17:30-22:00(20:30L.O)
定休日 | 水曜日、木曜日
※ご利用日時については、ご相談承ります。

今年の3月に名古屋マリオットアソシアホテルの中国料理長を開業から22年間勤めた木下貞三が、この夏、これまでの集大成の中国料理レストランをオープンします。店名の瑞瓏とは、めでたい印が触れ合い鳴り響くという意味です。乾燥フカヒレや干し鮑を使った、瑞瓏でしか味わえない極上の中国料理とおもてなしを奏でて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

201 Dental Office 丸の内 7/4 OPEN

営業時間
平日 | 10:00-13:30
15:00-18:30
土 | 9:30-13:00
14:00-17:30
休診日 | 木・日・祝
052-212-8601

当院では安心して受診して頂けるよう、十分に説明を行います。また予防やメンテナンスにも力を入れており、お口の健康から皆様を支えていきたいと考えています。
お困りの際にはいつでもご相談ください。家族や親しい友人に接するよう皆様をお迎えいたします。

内覧会 | 7/1 12:00-18:00 7/2 10:00-16:00

202 NANA 4/29 OPEN

営業時間
13:00-19:00
070-8590-7530
営業日はInstagramをご確認ください。
@7official_

アメリカ・フランスを中心に、海外から1点ずつ仕入れをしているヴァンテージショップ。大人が合わせやすい綺麗なアイテムを揃えており、古着初心者の方にもおすすめです。これから錦二丁目の一部として、皆様と楽しく過ごしながら、街の発展に微力ながら貢献できたらと思います。ぜひお気軽に遊びにいらしてください。

203 amplis 4/29 OPEN

営業時間
10:30-20:00
定休日 | 水曜日
070-8590-7530
@amplis_shop

アクセサリショップとネイルサロンが一体となった、プロデュースショップになります。店舗のテーマは「エイジレス」幅広い世代の方に、来ていただけたら幸いです。ご来店、お待ちしております。
Instagram @amplis_shop
■ご予約はこちらから■
beauty.hotpepper.jp/kr/slnH000584950

新しいまちの会所ができました！

いよいよ6月11日に7番地区市街地再開発「オリマチ錦」の1、2階に、錦二丁目エリアマネジメント株式会社による「喫茶七番 / スペース七番」がオープンしました。

1階の【喫茶七番】は、この施設、そして錦二丁目地区全体の窓口となる場所です。名古屋に昔からある喫茶文化を受け継ぎ、コーヒーや食事とともに一息つける場所となることにも、日常的な交流、情報交換の場として、そしてこの空間、このまち全体の案内人としてさまざまな情報が得られる場へと育てていく予定です。

喫茶七番の上には、ラウンジ空間を兼ね備えた貸し【スペース七番】があります。会議や集まりはもちろんのこと、レンタルキッチンもあり、料理教室や菓子製造な

どもお使いいただくことができます。ビジネスやカルチャーに関連した、多くの方が参加しやすい様々なイベントも企画する予定です。

入り口のラウンジ区間には愛知県内の木材でできたラウンジ空間&キッズスペースがあり、お子様連れでもご予約なくほっと一息つける休憩にも使用できます。

錦二丁目エリアマネジメント株式会社は、このまちの町内会と、まちづくり協議会、古くからの企業コミュニティである協同組合による、100% 地域でつくった会社です。2000年代から、まちの未来に向けてコツコツと取り組んできたことを、ようやくかたちとして実現しました。このまちに昔から住んでいる長老と、次々とやってくる新しい若手が入り交じり、新しいまちの文化を作ることに挑戦しています。

6月11日 グランドオープン

I-A 喫茶七番

錦二丁目 七番 喫茶

平日 | 7:30-21:00
土日祝 | 8:00-17:00
定休日 | 年末年始
電源使用可
Free Wi-Fi
https://kissa7ban.com/

2-A スペース七番

スペース 七番

平日 | 7:30-21:30
土日祝 | 8:00-17:30
2F レンタルスペース
保健所許可付きキッチン有
貸し会議室 2 部屋
詳細は喫茶七番 web よりご確認ください。



グランドオープン 直前対談

阿部 充朗(喫茶七番 責任者) × 白石 恭一(喫茶七番 店長)



白石… ついにオープンですね。

阿部… いよいよだね。僕が白石くん「喫茶七番」の店長を任されたっていう話をしたのは去年の春ごろだったかな。二十歳ぐらいの頃に出会ったんだけど、そんなに親しい間柄でもなかったんだよね。でも去年、久しぶりに会って話したらすっかり地に足が着いている感じがして、店長を任せらなびつたなって思った。

白石… お話をいただいたときは僕もワクワクしました。これまでのいろいろな仕事を経験してきた、カフェでも働いたことはあったんですけど、僕としては今後、普通の喫茶店で働くことはもうないだろうなって考えていたんです。

阿部… そう言ってよね。

白石… まだ20代ですけど、将来的には結婚して家庭を持ちたい願望もあるし、そうなるまでカフェや喫茶店で働きたいから家族を養って現実的には厳しいのかなという気がしてたの。

阿部… それでも「喫茶七番」で働くことに興味を持ってくれたんだ。白石… はい。お話をいただいてすぐに、働くならこーだ！って思いました。「喫茶七番」が単なる喫茶店というだけでなく、このまちにとって特別な意味を持つ場所になっていくと聞いて、そこに共感してぜひやってみたいと思いました。

白石… 誰もが気軽に立ち寄れる昔ながらのまちの喫茶店、と言ったよりも普段の生活で忙しい雰囲気のリトロな喫茶店というのでもないし、イメージを伝えるのはなかなか難しいですね。

阿部… そうなんだよね。僕も説明するときに「普通の喫茶店とは違うんですけど」なんて言っておきながら、やっぱりこはシンプルに「まちの喫茶店」になるんだろうなって思ってる。ただ、そもそも喫茶店の役割や概念はそれぞれのまちや地区ごとに違っていて、いわゆる昔ながらの名古屋の喫茶店って、かつては地域の人たちにとってもっと身近な存在だったはずなんだよね。たとえば近所のおじさんが、家でも読めるのにわざわざ通って来てお気に入りの席で新聞を広げるのを日課にしていたりするような。でも、そういうお店はほとんどなくなってきているよね。

白石… 「喫茶七番」はそんな場所になれたらいいですね。

阿部… 新聞読んでくつろいでるおじさんの隣の席には錦で働くOLさんが座っていたりね。お互いに名前も知らなくても顔は知ってて、お馴染みさん同士が笑顔で挨拶を交わし合えるような。もちろん、カフェ好きな人がコーヒーのある空間を楽しみに来てくれるのも歓迎だし、誰にとっても居心地の良い場所を目指していきたい。

白石… ところで、僕はこのまちと関わりはじめてまだ日が浅いので、これまでのことは資料や写真で知るしかないんですけど、錦二目に自分のお店(MITTS COFFEE STAND)を持ついたことももある阿部さんはまちの移り変わりをどんなふうに見てきたんですか。

阿部… 僕が店を開いたのはせいぜい10年ぐらい前。それより前に遡って90年代ごろを想像すると、長者町を中心とした錦二丁目には、繊維街として一番栄えた時代を過ぎてまちそのものが壊れていっていった感じがするよね。それでもちの人たちが手作りで祭りを立ち上げたトリエンナレを誘致したりして活気を取り戻していった。僕が店を開いたのもちやうどそんな時期。しばらく元気があったのにコロナでまた沈みかっているけど、ただ僕は、人にとってもまちにとっても「燃つてる」時期を経験することが必要なのかもしれないという気がしてるんですよ。どん底に落ちたらこそ上へ上がる力が湧いてくるわけだし。だから今、僕らの手でまちに新しい風を送りこんで、再び元気を取り戻す時期に差し掛かっているのかもしれないって思う。

白石… まちの人たちがキラキラした表情であひす祭り(※毎年秋に開催される長者町のお祭り)を楽しんでいる写真とか見ると、かっこいいなあ、こういう雰囲気をもた再現してみたいなあって思っています。

阿部… まちの人も外から来た人も一緒にあって、まちを遊び場のようにして楽しんでいたからね。それに比べると最近は何となくお洒落な雰囲気になってきているのかな…。

白石… 僕がこのまちで目指したいのは、お洒落さよりも人の顔が見える安心感や居心地の良さ。お洒落であることは悪くはないけど、それを求めすぎると人の顔が見えるっていうことと共存しづらくなるような気がして。

阿部… 僕自身もそうだけど、飲食業を長くやってきていると、上手にコーヒーを淹れることや美味しいお菓子を作ること集中し過ぎてしまふことがあるんだよね。それはもちろん大事なこともないけど、僕たちにとっての最終目的地はお客様に喜んでもらうこと。あの人はどんなにくつろぎ方が好きなんだろうとか、好みやクセまで、ちょっとした機微にも気付ける店でありたいよね。

白石… 店長として目標を具体的に言うとしたら、一人のお客さんと最低三言は会話をすること。そういうところから僕たちが目指すものが伝わっていくんだと思う。喫茶七番で一番大事にしたい僕らのマインドを実際にお店に来て感じてみてください！